

「禁煙ファシズムと戦う」がマンガ化されました

『実話漫画ナックルズ』2008年5月（ミリオン出版）掲載

（漫画：斉藤猛 / 構成：小野登志郎）

無視されている!!

「健康増進法」なる奇妙な法律が2003年5月に施行されたのだ

健康第一!
健康管理は国民の義務!
タバコなんてもつてのほか!!

一体いつのまにこんなものができていたのだろうか…

小谷野 敦 (こやの・あつし)
1962年、愛知県生まれ。文芸評論家、東京大学非常勤講師。文芸批評、歴史、空想論などの高い分野で評論活動を開始。共著に「禁煙ファシズムと闘う」(ベスト新書)など著書多数。

「健康増進法」なる奇妙な法律が2003年5月に施行されたのだ

健康第一!
健康管理は国民の義務!
タバコなんてもつてのほか!!

そんなタバコは悪いのかわざらわれないか? いけない?

おかげで関東の私鉄は軒並み駅構内が全面禁煙に…

そもそも都市部では大気自体が既に汚れきっている

なにホームの片隅に喫煙所すら許されないとは…

馬鹿げてると思わないか?

「受動喫煙」が当人以上の健康にも害を及ぼすとはよく言われている

しかしその程度がどれほどなのか厳密に計算することは不可能に近い

「受動喫煙」防止の配慮を義務つけた点だ

おかげで関東の私鉄は軒並み駅構内が全面禁煙に…

そもそも都市部では大気自体が既に汚れきっている

なにホームの片隅に喫煙所すら許されないとは…

馬鹿げてると思わないか?

「受動喫煙」が当人以上の健康にも害を及ぼすとはよく言われている

しかしその程度がどれほどなのか厳密に計算することは不可能に近い

03 健康増進法

こんな悪法をぶっ潰せ!!

喫煙者の人権は隠されている

禁煙運動の裏にモノとは…

何が悪い!!

タバコを吸って無視されている!!

路上「タクシ」駅のホーム新幹線まで次々と広がる「禁煙」という名の「ファシズム」。このヒステリックな健康ファシズムは、いつしか「戦争」へと繋がっていく。

原作 ● 小谷野 敦
漫画 ● 斉藤 猛
構成 ● 小野 登志郎

「路上禁煙地区」
ここは路上禁煙地区です
千代田区
指定区域内では罰則付適用されます

カリフォルニア大学の学者 エンストロームらが発表した論文は多くのデータを用いて 結論づけている

タバコの煙が 他人の健康に 与える害はさほど のものではない

しかし彼は 袋叩きにあった

多けりゃ 正しいの かよ...

受動喫煙の害を 証明する論文は 2000本以上 あるサマス

タバコの害を 否定すれば総攻撃 強調すれば出世! そんな中で冷静な研究 ができるだろうか?!

そもそも タバコ なんかに 吸つてると 肺ガンに なるサマス よ!?

なるほど 健康に悪影響が あることくらいは認めよう だがタバコを吸うと ガンになるわけではない 確率が高くなるという だけのことだ

ガンの主な原因は ストレスであるという説の ほうが実際には有力なのだ

それに健康に 良くないことなど この世には他にもいくら だつてあるのではないだろうか

そこで私は JF東日本に 対し...

喫煙者に対する 差別である!

憲法に定められて いる幸福追求権の 侵害である!

と裁判を起した のだが...

そんな意見に後押しされてか JF東日本はタクシーより いち早く新幹線を...

全面禁煙

世間の流れ ですので

ドアの開閉で 煙が入るよ!

禁煙席

喫煙席

...という苦情が この措置の根拠だなんて どう考えてもおかしい

アータが病気に なるのはかまわないサマス それはアータの 責任サマスから... でもタバコは周りにも迷惑 かけるサマシヨ!?

無視されている!!

判決!

しかも私の訴えに
対してこの
判決文は
明らかに
おかしい
だろ?

幸福追求権とは
生きてさえいけばいい
という権利なのか?

ただ「過度な禁煙」を
戒める文言が欲しかった
のだが判決文には
それもなかった

2007年12月21日
東京地裁の判決は
私の全面敗訴...

あーっ、はーっ、はーっ

意見表明のためさ
勝訴は期待して
なかったよ

しかも最近の
新聞は喫煙を擁護
する文章を全くと
いつていいほど
載せなくなった

タバコを撲滅することが
絶対の正義だと信じられ
逆らうことは許されず
マスコミ上で討論すら
させないなんて!

これは
れっきとした!

ハハハ

取材もナシで
記事にするなんて
ハナシがある
だろうか?

タバコ反対!

タバコ反対!

タバコ反対!

私が起こした裁判を
当初 新聞はまったく
報道しなかったが
この敗訴を受けて
産経新聞は:

約翌日の16日、佐世保市「だけだつた。」

「生存に影響なし」
JR全面禁煙お墨つき 東京地裁

JR東日本が今年3月1度を超えろとはいえない
から新幹線や特急を全面「上り切新」

...などと
とびっきり
いやらしい表現で
報じた

しかも
私への取材は
ナシニクク!!

禁煙
ファシズム
である!!



死んでもリセットすれば
生き返るんだよー

生への執着を戒めた
ブダの教えは いまでは
忘れられてしまった

芸能人の妻が
五十で早死にしたのは
タバコを吸ってた
からだ

タバコで殺される
のはゴメンだ
老婆で天寿をまっとう
したい だから私の
周りでは吸わないで
くれたまえ



人間は必ず死ぬ
死亡率100%である

だが現代人はそこから
目をそらすようにしている



思うにこの「禁煙ファシズム」
は何かを隠すための
スクリーンゴートなどは
ないだろうか？

何を隠しているのか
私はそれを
「死」と睨んでいる

無視されている!!

しかしもうひとつ、
隠されているものが
あるのだ読者諸君

それは
何か...?

タバコの煙などよりも
ずっと都市の空気を
汚す原因たるもの...

タバコを吸って90歳まで
生きた人がいるって?

吸わなければ
100歳まで
生きて
はです

タバコという後天的な
病因を操作することによって
疾病や死の恐怖から
逃れようという意思
それが禁煙プログラム
なのである!

そう それは
クルマの害!

なにも排気ガスだけじゃない
車は直接殺傷を引き起こす
「走る凶器」ではないのか?

タバコは最悪

新登場!

要するに自動車産業が
現在の先進国の資本制を
支えているから...

東京モーター
ショー開催

タバコには溶たい
新聞もクルマに
対しては全面的に
ウエルカムな記事を書く

彼らが反クルマキャンペーンを
やらないのは自動車会社からの
広告収入がバカにならないから
であらう

そして驚くことに
禁煙団体の代表の
一人は自動車会社の
出身なのである!

運動資金だ
しっかり頼むぞ

はっ

「なるて
噂が本当
不思議と
アホと
否定しない
...」



喫煙者の意見を載せないマスコミの「言論統制」に喝!!

文◎小谷野敦

生存に影響なし! 東京地域

「凡そ全面的禁煙は...」

「生存に影響なし!」

「東京地域」

「現シテ」

二〇〇三年に定められた健康増進法は「分煙」の指導義務を定めておかないのに、理不尽な「全面禁煙」へ向けてのすさまじい禁煙ファシズムが進行している。これにおいて、最も深刻なのは、新聞だと思われている。そもそも行政や大企業が強制的におこなうことをするのはすでに増えたことではない。しかし、新聞はそのおかしな動きを暴露し、批判する立場にある。仮に政治的に意見が対立する場合でも、読者と産経は保守、朝日は毎日と革新ないしリベラルといった具合に役割分担をしてくる。しかし禁煙ファシズムに関しては「これら四大新聞から増える新聞まで、今では手に手を揃えて、禁煙ファシズムの後押し記事ばかり載せているのが実情だ。その上、たとえは禁煙推進派への異論すら載せようとはしない。今世紀の始め頃には、まだそういう異論は許されていたが、載せると嫌煙者や禁煙団体のチカラがたちまち強固に押し寄せたりするから、強固になっただけで載せなくなりました。ただ、朝日新聞などは、右翼の偏見を受けても、言論統制とは異なり、と言っている。健康増進法の強圧には容易に屈してしまっているわけだ。

実際、私は何人もの新聞記者から、「言論が希いので」といった話を聞いている。「言論統制」といえば戦前の話かと思われるが、ここで行われていることなのだ。禁煙ファシストには、私たちがちゃんと見守る場を準備されているではないか、などと言った。今の日本では、新聞やテレビの言論力に、雑誌や単行本は対わない。日本人の多くは、タバコの煙に迷い込んで、たまたまおかしなことに巻き込まれている。新聞がなぜなら禁煙者と呼ばれることもない。現代社会で、カネの動きをきくと社会がぐちゃぐちゃになる。これには、自動車や飛行機などの運動を背後で支えているのは、自動車の輪から目を逃らさずやってくる自動車会社の支援であろうとは、容易に予想のつくことだ。新聞にとっても自動車会社は大切な広告主である。また、日本に対して全面禁煙を勧告し、健康増進法違反だと虚偽の内容を突き付けた九州健康協会というのがありますが、これらは、呼吸器学会が医学界の覇権を握るために起こされたことかと思われる。ファシズムである。新聞がどうして、私の意見を載せようとしてくれない。私は片隅でも、声を挙げ続ける。